

紺碧

小島学年主任が語る新型コロナと学校生活

6月20日まで「緊急事態宣言」の延長が決まった。新型コロナウイルスが終息し平穏な生活が訪れるのは一体何時になるのだろうか。

2020年初頭から新型コロナウイルスの感染は世界中に拡大しパンデミックを引き起こした。歴史上、人と感染症の付き合いは現在に始まったことではない。環境・人の往来に伴いその時代を象徴するように感染症が流行している。「スペイン風邪」など代表格だ。その都度私達は、あらゆる変化に適応してきたが、今の私達はどうか新型コロナウイルスと、その変異型と共存すべきか。

第2学年では、本校養護教諭の指導の下、徹底的に衛生管理を行っている。検温・手洗い・うがい・マスク着用・三密を避けるなど、基本中の基本を厳守するよう指導している。



君たちも対面授業が中心ではあるからこそ、教室内の換気・サーキュレーターの使用などできることは率先してやろう。各自がコロナの蔓延防止を意識し、健康管理をしっかりと行ってくれるから、学校で学習・進路指導が受けられるのだ。そのことを今一度意識して生活しよう。

【訃報】

エリック・カール (Eric Carle, 1929年6月25日 - 2021年5月23日) アメリカの絵本作家
ニスを下塗りした薄紙に指や筆で色をつけた色紙を切抜き、貼りつけていくコラージュの手法が特徴 鮮やかな色彩感覚によって「絵本の魔術師」といわれる。代表作である『はらぺこあおむし』を始め発表した絵本は40作以上にのぼり、39か国語に翻訳され、出版部数は5500万部を超えている。みんなもちっちゃい時に読んだよね。何度も何度も読んだよね。



今月の学び場

取り組んでみよう！ SDGs



日本は左記の3つが諸外国よりも対策が遅れていると言われています。持続可能な取り組みを出来る範囲で！6月は、食品ロスを考えて生活してみよう。食中毒も心配される時期です。食べられる範囲での購買と食品の衛生管理をしっかりと行いましょう。過剰な食材はフードバンクに提供できるといいですね！

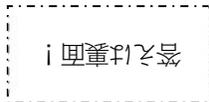
2030年、僕たちは26歳！ 未来を創るのは保善っ子！

世界の偉人たち

【6月生まれの偉人】ヘレンケラー Helen Adams Keller (1880~1958年)
社会福祉活動 教育家

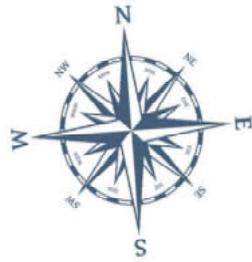
クイズ >>> 「見えない・聞こえない・話せない」ヘレンがはじめて理解した言葉は？

- ① mother ② water ③ dog



知っておこう〈ヘレンケラー〉のここがすごい!!!

- 『三重苦の障害を乗り越えた』
- 『盲学校から大学に進学し卒業した』
- 『身体障害者福祉法のきっかけに』



沖縄への羅針盤

第2学年での最大の行事といえば「沖縄修学旅行」です。このコラム「沖縄への羅針盤」では、沖縄を愛してやまない世界史担当の近藤先生が、沖縄の様々な分野を紹介してくれます。

今回の内容は「沖縄 History」（編集部）と「6月23日～沖縄慰霊の日～」（近藤先生）です。

沖縄 History

昔、沖縄県は、琉球王国とよばれた一つの国でした。1429年、尚巴志(しょうはし)という人物が、各地の有力者をついにまとめました。首里城※を王国の中心とした琉球は、さかんに中国や日本、アジアの国々に出かけていき、沢山の品物の売り買いを行いました。そのころの那覇の港は、海外から運ばれたはこばれた物や外国人であふれたといわれます。この時代は「大交易時代」とよばれています。琉球は、「レキオ」という名前で、ポルトガルの資料にも記録されています。1609年、琉球王国は薩摩藩(今の鹿児島県)からの侵攻を受けます。ちょうど日本では、将軍を頂点とする国(江戸幕府)が始まったころでした。この時代、琉球は日本文化の影響を受けて、さらに特色ある文化を育てていきます。明治時代になると、450年間続いた琉球王国はなくなり、琉球は沖縄県となります。



太平洋戦争が終わりをむかえようとする、1945年3月末、アメリカ軍が沖縄に上陸しました。激しい戦いが行われ、沖縄に住んでいた人々約10万人を含むたくさんの人たちが亡くなりました。これが「沖縄戦」です。沖縄戦争が終わると、1972(昭和47)年5月15日に日本へ復帰するまで、沖縄で

はアメリカの統治が27年間続きました。その間に米軍基地が建設され、今もなお存在しています。かつて琉球王国として栄えた歴史と文化は、今も私たちに受けつがれています。これからの明るい沖縄をつくるためにも、自分たちの歴史を知り、そこからたくさんを学びたいものです。(編集部)



※令和元年(2019年)の火災により、正殿など8つの建物が失われました。令和8年(2026年)の再建を目指しています。

6月23日～沖縄慰霊の日～

6月23日。今年もこの日が巡ってきます。76年前、美しい海と空に囲まれた沖縄では、地獄のような惨状が約3ヶ月も続いていました。この日は牛島満司令官・長勇参謀長が自決し、沖縄戦の組織的抵抗が終了した日ですが、その後も9月7日の沖縄戦降伏文書調印まで約9千人の犠牲者が出ています。沖縄戦による県民の死者約12万人。その内の約半数は、南部に追い詰められた6月の犠牲者です。多数の住民を犠牲にしてまでなぜ沖縄は戦わねばならなかったのか、皆さんにはそこをしっかりと学んでほしいと思います。(近藤八朗・地歴科)

6月・7月の予定

6月9日(水)～ 三者面談期間	6月26日(土) 数学月例テスト②
6月14日(月) 休校日	漢字検定(申込者のみ)
6月16日(水) 国語力テスト②	6月27日(日) 英語検定2次(外部会場)
6月19日(土) 数学検定(申込者のみ)	6月30日(水) スペリングコンテスト①
6月21日(月) アカデミック・ディ(詳細は後日)	7月6日(火) 自宅学習日
	7月7日(水)～ 1学期期末試験

編集後記

第2学年学年通信は、「感じる心」・「考える頭」・「作り出す手」にアクセスできればと考え編集に取り組んでいます。コロナ禍での生活は、不安との戦いです。学校での生活や学習していること、学校生活を取り巻く環境や世情について少しでもお知らせできるよう学年一同頑張ります。宜しくお願い致します。

